



### デブ猫「マル」、西脇上陸

創作童話「かなしきデブ猫ちゃん」の兵庫県シリーズの連載が神戸新聞で始まるのを前に、主人公のハチワレ猫「マル」が片山市長を訪問しました。小説家・早見和真さんが初めて執筆したこの童話は、マルが旅の途中で出会いや別れを経験しながら、地域の魅力に触れる内容。片山市長と名刺交換したマルは、にっしーを交えて記念撮影も。片山市長は「物語を通じて、まちのPRになれば」と期待を寄せました。〔2月15日／市役所〕



### 市政・病院運営に5千万円寄付

新型コロナウイルス感染症の対応や西脇病院の運営に役立ててほしいと、市内にお住まいの竹内保治さん・直美さんご夫婦から5千万円を寄付いただきました。片山市長はあいさつで「コロナ禍で市政や病院の経営が厳しい中、多額の寄付をいただき、本当にありがとうございます。地域のために有効に使わせていただきます」と謝辞を述べ、二人に感謝状を手渡しました。〔3月15日／市役所〕



### 筋力アップを目指して—「おりひめ体操第3」完成

西脇市オリジナルの健康体操「おりひめ体操」の第3弾完成を記念し、体操の披露と高齢者のフレイル予防への意識向上を目的とした「おりひめ体操のつどい」を開催。約80人が参加しました。

おりひめ体操は、医師や歯科医師らとともに足腰の筋力アップと口腔の健康維持のために平成25年に制作。このたび制作した体操第3は、東京五輪にちなんで水泳やテニス、重量挙げなどのスポーツ競技の動きを取り入れ、重りを装着して負荷をかけ、筋力アップを目指します。

つどいでは、制作に携わった南整形外科の南久雄院長が、健康で元気に過ごすための筋肉トレーニングの重要性やその方法を解説。また、参加者は映像を見ながらおりひめ体操第3に挑戦しました。〔2月24日／市民交流施設〕



### プロバレーボール白熱

Vリーグ2部男子の西脇大会に、本市を第2の活動拠点とする兵庫デルフィーノ（尼崎市）が出場。東京ヴェルディ（東京都）と対戦し、フルセットにもつれ込む熱戦を繰り広げました。〔2月26～27日／総合市民センター〕



### 3年ぶりの「春カル」

市民の成果発表の場「西脇市春のカルチャーフェスティバル」を開催。作品展では、絵画や写真、書など約65点を展示。音楽祭では、吹奏楽・ベルなどの9団体が美しい音色を奏でました。〔3月12～13日、20日／市民交流施設〕



### 伝統芸能で郷土色豊か

県内各地に伝わる伝統芸能を紹介する「ひょうご民俗芸能祭」で、播磨、丹波、淡路の7団体が舞踊や民謡などを披露。西脇市からは、アピカ和楽器教室、日本のへそ音頭保存会が出演しました。〔2月27日／市民交流施設〕



### スポーツで好成績「絆賞」

西脇市教育委員会は、毎年、スポーツや文化などの分野で優秀な成績を収めた小中学生に、西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」を贈呈しています。今年は、神崎隼人さん（陸上）と佐藤綺花さん（野球）が受賞。笹倉教育長が表彰状を手渡し、功績をたたえました（20頁に関連記事）。〔3月1日／市役所〕



### リサイクルで持続可能な社会へ

西脇多可行政事務組合とサントリーホールディングス株式会社、サントリー食品インターナショナル株式会社（東京都）は、ペットボトルのリサイクルに関する協定を締結。協定により、みどり園で回収したペットボトルは、全てペットボトルとして水平リサイクルし、循環型社会の形成と環境負荷の低減を図ります。〔3月16日／市役所〕